

TNRってなに??

～飼い主のいない猫の繁殖制限を目的とした取組の1つとして～

飼い主のいない猫は、環境や衛生面での懸念のほか、繁殖を繰り返すことで数が増え、「鳴き声」「ふん尿被害」「交通事故」などの問題につながることがあります。そのような状況への対応の1つとして、TNRという方法があります。

TNRとは

TNRとは、以下の3つの手順を意味します。

Trap（トラップ）＝捕獲する

Neuter（ニューター）＝不妊・去勢手術を行う

Return（リターン）＝元の場所に戻る

この手法では、飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を実施した上で、再び地域に戻ることで、猫の数の増加を防ぐことが目的とされています。



TNRの効果

TNRはすぐに目に見える効果が出るわけではありませんが、次のようなことが期待できます。

1 繁殖の抑制

不妊・去勢手術を受けた猫は、子孫を残すことができなくなるため、猫の数が増えるのを防ぎます。



2 発情期の鳴き声の減少

発情期のオス猫の鳴き声や、メス猫の発情行動が減少し、近隣住民への迷惑を軽減します。

3 尿の臭いの軽減

去勢手術を受けたオス猫は、尿によるマーキング行動が減るため、尿の臭いを軽減します。



4 ケンカの減少

発情期のオス猫同士のケンカが減少し、騒音や怪我を減らします。

「さくらねこ」とは？

手術を受けた猫には、再手術を防ぐために片方の耳先をV字にカットする「耳カット」が施されます。

この特徴的な耳（さくら耳）を持つ猫は、「さくらねこ」と呼ばれています。

つまり、「さくらねこ」は、すでに不妊・去勢手術が済んでいる猫です。



カットする耳は左右で違いがあるの？

一般的には、

右耳をカット→オス猫

左耳をカット→メス猫

とされています。このようにカットする耳を左右で分けることで、猫の性別や手術の有無が一目で分かるようになります。

ただし、地域や動物病院によって運用が異なる場合もあります。

TNRの重要性

自由に生きている野良猫を捕まえて、不妊手術して耳まで切っちゃうなんて残酷な...という人もいるかもしれません。



しかし...

野良猫は、一度の出産で数匹の子猫を産み、年に複数回出産することがあります。そのため、放っておくと数年で数百匹に増える可能性があり、適切な繁殖制御が欠かせません。

TNRは、殺処分に頼らずに猫の数を調整する方法の一つとして注目されており、人と猫がよりよく共生していくための重要な手段と考えられています。